



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月14日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の業績 (2020年9月1日～2021年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	3,426	38.9	△151	—	△167	—	△120	—
2020年8月期第3四半期	2,466	—	10	—	18	—	9	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	△5.58	—
2020年8月期第3四半期	0.46	—

(注) 1. 2019年8月期第3四半期は連結財務諸表を作成していたため、2020年8月期第3四半期対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	2,404	1,084	45.1
2020年8月期	1,751	644	36.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 1,084百万円 2020年8月期 644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	20.9	△200	—	△160	—	△210	—	△9.69
	～ 4,600	～ 32.4	～ △180		～ △140		～ △190		～ △8.77

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正については、本日（2021年7月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	21,770,200株	2020年8月期	21,014,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	270株	2020年8月期	270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	21,592,770株	2020年8月期3Q	21,004,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

全国の農業総産出額は、コメ、野菜等の需要に応じた生産の進展等から増加傾向で推移していましたが、野菜等において生産量の増加から価格が低下したことから、2019年は前年に比べ1,620億円減少したものの、8兆8,938億円と引き続き高い水準を維持しております(出典:農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2020年2月時点の農業経営体のうち、個人経営体は103万7千経営体で、2015年に比べ30万3千経営体減少した一方、団体経営体は3万8千経営体で1千経営体増加しております(出典:農林水産省「農林業センサス」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第3四半期累計期間は、期初において高値圏にあった青果価格が、全国的な好天により供給過多となった影響で最安値水準まで低下する値動きの大きい相場状況であったものの、新型コロナウイルス感染症の長期化による第2回及び第3回の緊急事態宣言に伴う巣ごもり消費や内食需要の定着を背景に青果需要は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、特に大型生産者との取引拡大を図り、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、これまで当社が進めてきた農家の直売所事業に加え、スーパー等の通常の青果売場で販売する産直卸事業を推進いたしました。また、富山中央青果株式会社と連携協力に関する協定書を締結し、新しい農産物流通の創造に向けた取組を開始いたしました。さらに、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社福岡ソノリク及び株式会社農林漁業成長産業化支援機構を割当先として約5.6億円の第三者割当増資を行い、同時に東日本旅客鉄道株式会社及び株式会社福岡ソノリクと業務提携契約も締結するなど、既存の農産物流通プラットフォームの高度化のため、他社とのアライアンスも積極的に展開いたしました。その後、東日本旅客鉄道株式会社とは、農産物の集荷拠点である集荷場「JRE 農業ステーション江見駅」をJR内房線江見駅の敷地内に開設し、株式会社福岡ソノリクとは、物流センター機能の拡張と、西日本エリアの農産物輸送網の効率化を目的に、福岡ソノリク関西物流センター内に「神戸センター」を開設いたしました。一方、流通総額のさらなる拡大に備えたシステム開発や産直卸事業の推進のための人材投資の実施により、販売費及び一般管理費が前年同期比で増加いたしました。

このような取組みの結果、当社の重要な経営指標である流通総額は当第3四半期累計期間において8,812,696千円(前年同四半期比13.2%増)、2021年5月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は1,713店舗(前事業年度末より94店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は93拠点(前事業年度末より1拠点増)、登録生産者は9,547名(前事業年度末より274名増)まで拡大いたしました。当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は3,426,582千円(前年同四半期比38.9%増)、営業損失は151,675千円(前年同四半期は営業利益10,367千円)、経常損失は167,703千円(前年同四半期は経常利益18,686千円)、四半期純損失は120,476千円(前年同四半期は四半期純利益9,708千円)となりました。

また、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ653,331千円増加し、2,404,593千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ422,257千円増加し、1,832,839千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加410,985千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ231,073千円増加し、571,754千円となりました。これは主に、有形固定資産の増加44,339千円、無形固定資産の増加122,569千円、投資その他の資産の増加64,164千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ213,834千円増加し、1,320,301千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ39,718千円増加し、1,049,900千円となりました。これは主に、短期借入金の増加38,536千円、未払法人税の減少28,608千円、賞与引当金の増加23,029千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ174,115千円増加し、270,400千円となりました。これは主に、長期借入金の増加170,012千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ439,497千円増加し、1,084,292千円となりました。これは主に新株発行による資本金の増加279,986千円、資本準備金の増加279,986千円、四半期純損失120,476千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期の業績予想につきましては、2020年10月14日に公表いたしました通期の個別業績予想から修正いたしました。

売上高につきましては、産直卸事業が当初より堅調に推移していることなどにより、前回公表した予想を上回る見通しとなりました。

一方で、前回まで未定としていた利益につきましては、青果市況の安値基調が長期化するなかで、売上総利益率が低下傾向にあることに加え、流通総額のさらなる拡大に備えたシステム開発や産直卸事業の推進のための人材投資などの実施により減益の予想となりました。

詳細は、本日(2021年7月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614,501	1,025,487
売掛金	772,820	766,171
その他	27,895	45,777
貸倒引当金	△4,636	△4,597
流動資産合計	1,410,581	1,832,839
固定資産		
有形固定資産	43,677	88,017
無形固定資産	143,852	266,421
投資その他の資産	153,150	217,315
固定資産合計	340,680	571,754
資産合計	1,751,262	2,404,593
負債の部		
流動負債		
買掛金	652,534	674,541
短期借入金	54,800	93,336
1年内返済予定の長期借入金	41,384	39,984
未払金	161,732	158,484
未払法人税等	28,608	—
賞与引当金	37,763	60,792
その他	33,358	22,762
流動負債合計	1,010,182	1,049,900
固定負債		
長期借入金	86,712	256,724
その他	9,572	13,676
固定負債合計	96,284	270,400
負債合計	1,106,467	1,320,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,448	494,435
資本剰余金	199,448	479,435
利益剰余金	231,141	110,665
自己株式	△242	△242
株主資本合計	644,795	1,084,292
純資産合計	644,795	1,084,292
負債純資産合計	1,751,262	2,404,593

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	2,466,315	3,426,582
売上原価	924,556	1,754,191
売上総利益	1,541,758	1,672,391
販売費及び一般管理費	1,531,391	1,824,066
営業利益又は営業損失(△)	10,367	△151,675
営業外収益		
受取賃貸料	2,067	1,470
助成金収入	7,035	150
その他	1,266	3,105
営業外収益合計	10,370	4,725
営業外費用		
支払利息	940	1,407
賃貸費用	1,110	615
株式交付費	—	18,729
営業外費用合計	2,050	20,753
経常利益又は経常損失(△)	18,686	△167,703
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	18,686	△167,703
法人税、住民税及び事業税	26,612	3,849
法人税等調整額	△17,634	△51,075
法人税等合計	8,977	△47,226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,708	△120,476

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月4日付で、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社福岡ソノリク及び株式会社農林漁業成長産業化支援機構から第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が279,986千円、資本準備金が279,986円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が494,435千円、資本準備金が479,435千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。